

## 2, 「災害対応型自動販売機の設置拡充について」を質問!!

東日本大震災は未曾有の大災害であり、3月の雪の中、被災者の皆さんは着のみ着のまま避難したこともあり、飲料水の提供はあったが、冷たいまま飲まなければならず、又赤ちゃんの粉ミルクを温かいお湯で溶いて飲ませる事が難しかったとお聞きしている。この大災害以降、災害時、温かい飲料を無料提供する災害対応型自動販売機が全国で普及している。大災害は、軽井沢町でも考えられることから設置拡充について質問しました。



©KOMEITO

## 問

町内の公共施設等では、どこに設置されているか？

## 答

役場庁舎内2階職員ホール1台、軽井沢病院4台、くつかけテラス1台、軽井沢消防署職員食堂1台、その他離山急速充電器施設1台の計8台。



## 問

カップ式災害対応型自動販売機は、復旧後、お湯と水両方の提供ができ、特に赤ちゃんの粉ミルク調乳やアルファ米の調理、フリーズドライ食品等において大きなメリットがあるが？

## 答

メリットもあるが、水電気が復旧しないと使えないデメリットもある。町では、電気水道がストップした場合でも考慮し、無料の給茶機等機器を役場に2台、病院2台、木もれ陽の里1台、アイスパーク1台の計6台を設置し、災害時温かいお茶や湯が提供できるようにしている。

## 問

二次避難所、福祉避難所において指定管理者に更新時に災害対応型を積極的に導入できるよう働きかけはできないか？

## 答

二次避難所、福祉避難所への災害対応型自動販売機設置はメリットがあるが、メーカーとの協議が必要なので、施設利用状況など導入設置についてはメーカーと協議していきたい。

## 問

民間、公共施設等全町あげて災害時の協定が結べないか？

## 答

町としては、まずメーカーと応援協定を締結し、メーカーの考えも聞いた上で、町からの提案はできると考える。

## 平成30年度 法律相談（上田会場）

<日 程> 9月8日（土）

<時 間> 午後13:00～15:30

<場 所> 上田市大手町コミュニティセンター2階

<弁護士> 土屋準弁護士 ○予約受付は川島まで



\* 公明新聞の御購読をお願いします。  
（日刊1ヶ月1,887円、日曜版1ヶ月293円）  
川島さゆり TEL 080-9804-7656 まで

## さゆり通信

発行：川島さゆり 軽井沢町大字長倉 4280-5 TEL 46-2135

## ごあいさつ

青い空・白い雲・さわやかな風。軽井沢も夏本番シーズンを迎えましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。私も6月議会を終え、委員会、視察、研修にとお陰様で多忙の日々を過ごしております。

この度の、全国 100 万人訪問調査運動では、「企業・防災減災・子育て・介護」の4つのテーマで皆様にアンケート調査をお願い致しましたところ、多くの方に御協力頂き誠にありがとうございました。

皆様のご意見御要望は、必ず町へ、県へ、国へとお届けを致しますのでよろしくお願い致します。



イラスト：斉藤暁雄

## 活動レポート



ふるさと公園清掃ボランティア  
ピッコロの会



100万人訪問  
調査運動に挑戦!



軽井沢  
街頭遊説に挑戦!



総務常任委員会で  
岩手県紫波町に  
視察

# 2018年 6月会議定例会 一般質問から

## 1,「マイナンバーカードの取得と利活用推進について」を質問!!

国のロードマップでも本格的運用が始まり、いよいよ軽井沢町でも来年4月からコンビニ交付が開始され、住民票・印鑑証明・戸籍謄本などが全国いつでも、どこでも取れるようになります。

しかし、それにはICチップの入ったマイナンバーカードを取得して頂かなければなりません。しかしこの先、様々な利活用が広がる事から、今年度、取得申請、交付のチャンスと捉え、質問しました。



### 問い

コンビニ交付システムのスケジュールは？



### 答え

地方公共団体情報システム機構のシステム構築の必要があることから、申請、住民基本台帳と戸籍情報との紐付け作業。2月下旬には稼働確認が出来るよう進めていく。同時に庁舎内にキオスク端末を2月下旬設置をめどに進めていく。

### 問い

コンビニはどこでも取れるのか？役場窓口との料金設定の差は？

### 答え

キオスク端末が設置されているコンビニに限られる。料金設定は今後検討していく。

### 問い

すでに町では周知しているが、未だにシステムがわからない方もいる。来年度のコンビニ交付システムをチャンスに今年度更なる周知普及を？

### 答え

住民課窓口、広報かるいざわ、町ホームページでさらに周知啓発していく。

### 問い

私の調査では、写真が1つのネックになっている。役場での水曜日予約制の申請もあるが、限界がある。そこで、区の総会、イベント会場などより身近な所で申請が出来ないか。



### 答え

イベント会場での申請は可能と考えるが、機会や方法については研究する。赤ちゃんを抱えているお母さんには、子育て支援センターでの機会を研究して参りたい。



イラスト：斉藤暁雄



### 問い

証明用写真機だと、交付申請書を持参し、QRコードをバーコードリーダーにかざし、自身で写真を撮り、必要事項を入力すれば送信でき簡単だが、役場導入の検討はされなかったのか。

### 答え

検討はしていないが、タブレットにより職員がお手伝いをさせて頂く。町内では軽井沢郵便局の駐車場に設置されている。



### 問い

政府が運用するオンラインサービスである「マイナポータル」を活用しての「子育てワンストップサービス」がある。児童手当、児童扶養手当、母子保健に関することが電子申請できる。通常、行政サービスを受けるには煩雑な手続きが必要だが、24時間どこからでも申請ができ、保育、児童手当の現状届けなど忘れがちな手続きを事前に知らせてくれる「プッシュ型通知」など便利な機能がついているが？



### 答え

現在、町ではマイナポータルを活用した子育てワンストップサービスの検索機能とオンライン申請の一部のみ稼働している。なお、利用できるサービスは順次拡充していく。

### 問い

国のモデルとして塩尻市で導入されたが、マイナポータルでの予防接種記録、歯科検診記録、健診記録、保健センター。小学校等における一貫したお子さんの健康情報を保存、閲覧ができる「電子母子手帳」は？



### 答え

近隣自治体では千曲市、立科町が導入している。塩尻市も採用しているアプリ等研究しながら導入について検討して参りたい。

### 問い

2020 年からマイナンバーカードが保険証として運用されるが、40 歳から 74 歳までメタボリック症候群予防に向け特定健診受診履歴の提供、血中脂質、肝機能、生活習慣病などのデータを把握、健康増進等役立つが？



### 答え

カードを保険証として利用できる状況になれば、メタボリック症候群の予防に向けた特定健診の受診履歴のデータ等提供は、健康増進に役立てられると思う。今後、国の動向に注視し調査研究していく。